

# ななめに立つ おきあがり小法師をつくろう

しらべたいことがわかるような  
タイトルをつけよう。

ねん 年 組 小み 組 なまえ ( )

なまえをわすれずに書こう。

## きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、  
きっかけになったことを書こう。



## けっか

ななめに立つおきあがり小法師ができた。

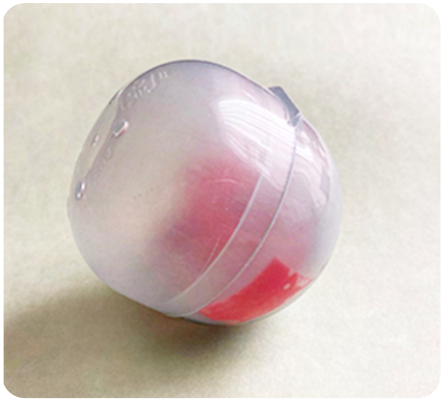
じっけんのけっかだけを書く。  
表やグラフ、しゃしんをつかうとわかりやすいぞ。



## じっけんのやり方

カプセルのとがっているほうの内側に、  
ななめに立つようにビー玉のおもりをつける。  
紙粘土でおおってかわかし、できあがったら指で押してたおしてみる。

つかったものや、しらべるやり方を  
書こう。絵やしゃしんもつかうと  
わかりやすいぞ。



## わかったこと

おもりの場所をかえても、そこで安定して立つことがわかった。

けっかからわかったこと、かんがえた  
ことを書く。よそうとちがったときは、  
どうしてそうなったのかかんがえてみよう。

## よそう

しらべる前に、けっかをよそうして書く。  
よそうした理由も書こう。

たおしても起き上がって、ななめに立つとおもう。

## まとめ

おもりがバランスよく入っていると、ふつうは立たない立てかたでも安定して立ち、  
いくらかろがしても立ち上がることがわかった。おもりをもっと重くしたら、  
どのような起きかたをするのかもしらべてみたい。

けっかとわかったことをまとめて、  
つぎにしらべてみたいことを書こう。